

# 三浦半島地域連合・労福協共催 フードドライブ食品(お米・副食など)を フードバンクかながわに寄贈、第2弾!



三浦半島地域連合・労福協共催で、『フードドライブ』に積極的に取り組んでいます。本来であれば1月22日開催予定の地域連合幹事会で各組織から持ち寄り、集めたものを届ける予定でしたが、新型コロナウイルスによる2回目の緊急事態宣言期間となり、書面持ち回りで開催となったため、全組織からの集約が出来ませんでした。

しかし、前回12月14日以降に、三浦半島地域連合事務所と近隣労組で取り組めた日産労組追浜支部・三教組から、集約した食品(お米51キロ、副食48点・約9キロ)が集まりました。

食材の中には賞味期限が短いものもあったため、少量ではありますが、寄贈頂いた2組織の委員長(日産労組浅倉委員長、三教組明口委員長)と事務局で2月9日の10時にフードバンクかながわを訪れ、第2弾の寄贈をしました。



寄贈後にフードバンクかながわの小林さんとお話しをしましたが、食糧支援の話題がニュースでも取り上げられ、寄贈量が増えて、年末のような深刻な食料不足はないものの、寄贈品の仕分け・分別などの作業工数が不足ぎみであることが問題になりつつあるとお聞きしました。



本日もフードバンクかながわの職員がボランティアの受け入れ指導に追われている感じであり、今後はトータル的な支援・協力が必要と感じました。

第3弾は、お米一合運動締め切り間近の3月末を予定していますが、一日も早く新型コロナウイルスが収束し、三浦半島地域連合・労福協の構成組織がフードドライブ活動を行いやすい状況になることを願うばかりです。

## 「お米一合運動」の参加方法

- お米一合以上をビニール袋やジップロック等に入れてお願いします。
- お米の袋を所属の労働組合に届けてください。
- 労働組合は地域労福協を通し「フードバンクかながわ」に届けます。
- 「フードバンクかながわ」は、ひとり親世帯を支援する行政・自治体やNPO等の団体に届けます。
- お米は、賞味期限もなく、「フードバンクかながわ」で再精米するので美味しいお米をお届けします。
- 取り組み期間：2020年10月1日(木)～2021年3月31日(水)

〈しんぐるまざーずふぉーらむ〉が新型コロナで影響を受けたひとり親世帯に行った調査によると、①母子世帯の60%の世帯が収入減 ②15%の世帯が収入がなくなった ③「食費を削ることしか節約の方法がない」「親子とも一日1食」、等の深刻な回答もありました。フードバンクにも切羽詰まっているという声が届いています。